

[基本構想で抽出された課題]

[WSでの意見等]

[課題の整理]

- ③体を動かす遊びを通して、基礎的運動能力の向上を図る必要がある
- ⑬小学校低学年が利用できる運動系の活動を行える場所を提供する必要がある

- ・体育館のような広さ・スペースがあるとよい
- ・自転車（一輪車）に乗ることができる
- ・フリークライミングの壁があるとよい
- ・卓球、バドミントン、3on3バスケコート
- ・冬期間は、自宅や友人宅で遊ぶことが多い（冬季間でも気軽に遊べる施設がほしい）

- ・年間を通して利用できる親子の居場所を創出する
- ・天候が悪くても、十分に体を動かせる場を提供する（活動の主対象は、乳幼児～小学校低学年）

- ⑦親が安心できるように、子どもが安全に利用できる年齢期別の活動の場を創出する必要がある
- ⑫未就園児とその兄弟も利用できる施設とする必要がある
- ⑪遊ぶ場所と分けられた飲食ができる場所を提供する必要がある

- ・小さい子も大きい子も一緒に遊ぶのは危険
- ・親が下の子と上の子を同時に見れるレイアウト
- ・囲いがあるので（囲いがあれば）安心。
- ・安全性・死角等がないようにする
- ・きょうだいがいると、年齢差のある子ども同士でも遊べる場所があるとよい
- ・年齢制限があり、きょうだい一緒に利用できない施設がある
- ・飲食できる場所が欲しい
- ・食事の提供もしてほしい（移動販売含む）

- ・兄弟姉妹で気軽に利用できる必要がある
- ・子どもも親も安全に安心して遊ぶことができ、ゆっくり過ごせる空間をつくる必要がある

- ④地域子育て支援事業と一時預かり事業の推進を図る必要がある
- ⑤次世代を担う子供が豊かな心を育める子どもの居場所を創出する必要がある
- ⑥周辺施設との機能連携や分担を図り、本施設の機能・役割を検討する必要がある

- ・託児所は、あればよいが、公的施設としてはいらないのでは？
- ・親向けの講座の時の一時預かりは必要
- ・小学生が時間を持てあます日に使える
- ・高校生まで利用できる

- ・公園の中にある施設として特徴づける必要がある
- ・公園の利用者も立ち寄れる空間をつくる
- ・多様な育児支援を提供する必要がある

- ①子どもだけでなく、親子で一緒に生活体験などを含めた豊かな体験を経験する必要がある
- ⑩親子で参加できるプログラムを提供する必要がある

- ・各種イベントの開催
- ・調理実習のできる教室
- ・親子講座、親向け講座、パパ向けの体験講座

- ・子ども・親・親子と、多様な体験ができるプログラムを提供する

- ⑧親同士の交流は、ボランティアスタッフへの動機づけや運営への参加の意欲醸成につながることを期待されることから、今後の運営において重要なポイントであり、交流の場を提供する必要がある
- ⑨親が安心して利用できる施設や管理運営体制を整備する必要がある

- ・ママが友達を作れる場所が必要
- ・ママ同士の交流の際に保育士等に子どもを見てもらいたい
- ・講座や勉強会は、周辺の子ども支援施設等で行っているのではない
- ・親子でのんびりできる
- ・親がくつろげるソファなどがある
- ・男親が快適に利用しやすい環境があるとよい

- ・親同士の交流の場を提供する必要がある
- ・親にとっても居心地がよく、気軽に立ち寄ることができる施設環境をつくる

- ②地域が子育て支援に関わる仕組みを構築する必要がある

- ・地域と連携し、世代間交流を促進する活動を提供する